
「硝子体手術におけるトロッカーの刺入法の研究」に関するお知らせ

このたび、当院で手術・診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもとおこなうものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025年4月1日から2026年3月31日の期間に埼玉医科大学病院眼科を受診し、硝子体手術が必要と診断され、手術をした患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

硝子体手術ではトロッカーというものをを用いて、器具を出し入れするトンネルを強膜に作ります。我々は以前より、トンネルの向きを工夫して手術をしており、術中に創の縫合の必要がありません。また糸を使わないので、術後炎症が出ず、抜糸の必要もありません。本研究では、この方法の結果を後ろ向きにカルテの情報をもて統計をとって評価し、その有用性を他の施設の先生方にお伝えすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年12月15日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

「術中所見、術後眼圧」を抽出します。この研究で得られた患者さんの診療記録情報は、【埼玉医科大学病院】において、「研究責任者篠田啓」が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

硝子体手術が必要と診断され手術を実施した方の診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 眼科 篠田啓（研究代表者）
- ・埼玉医科大学病院、獨協医科大学病院 眼科 河越龍方

4. 試料・情報の管理責任者

＜実施機関＞【埼玉医科大学病院】病院長 篠塚望

＜提供元機関＞【獨協医科大学病院】病院長 麻生好正

5. 試料・情報の提供方法等について

情報は、個人が特定できないように加工した上で、他病院の情報も含め研究代表者が管理して、埼玉医科大学においてデータベースに登録します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 眼科 篠田啓

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1250（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：硝子体手術におけるトロツカーの刺入法の研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学病院 眼科 篠田啓